

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	悪性腫瘍の発生・転移においてDPP-4が演じる分子機構に関する臨床研究
研究機関名	金沢医科大学（病院）
研究責任者	金沢医科大学（病院） 内分泌代謝科 古家 大祐
研究期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2022 年 3 月
対象者	金沢医科大学で乳管癌の診断・治療目的に生検・手術が行われる患者さん
当該研究の意義・目的	現在、多くの新しい抗がん剤が登場し、癌に対する治療戦略は急速に進歩しています。癌の治療を行う上で、抗がん剤への耐性獲得や、癌の増殖や全身への転移は、患者さんの予後に大きく関わる因子で、重要な研究課題です。 本研究の目的は、糖尿病の治療ターゲットとして既に知られているDPP-4という酵素が癌の増殖・転移・耐性獲得に与える影響を解明し、新しい治療法を確立することです。
方法および研究で利用する試料・情報について	採取・摘出した腫瘍組織において、以下の項目を解析します。 1. DPP-4発現 2. 上皮マーカー、間葉系マーカー、EMT関連蛋白発現 3. CXCR4及びCXCL12発現 4. Akt, mTOR活性化、その関連蛋白 5. 腫瘍組織におけるmRNAおよびmicroRNAの網羅的解析(可能な場合のみ) カルテにおいて、以下の情報を収集します。 1. カルテ番号・病理検体番号 2. 性別 3. 年齢 4. 発症時期(推定罹病期間) 5. 合併症/既往歴 6. 喫煙・飲酒歴 7. 身長、体重 8. 腫瘍のサイズ 9. 腫瘍の広がり 10. 化学療法への感受性 上記期間中に得られたこれらの解析結果を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 研究代表者 金沢医科大学（病院） 内分泌代謝科 古家 大祐 研究担当医師 金沢医科大学（病院） 内分泌代謝科 高垣 雄太 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（3305）

作成日： 2019 年 1 月 7 日